

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー京橋教室			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日 ～ 2025年 8月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数)	52
○従業者評価実施期間	2025年 7月 20日 ～ 2025年 7月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成	・個別支援計画の作成にあたり、保護者様やお子様のニーズ・困り感を丁寧に把握し、発達段階や状況に応じた支援方針をわかりやすく説明している。職員間での情報共有や意見交換を行い、作成前後に相談・検討を重ねることで、計画内容と日々の支援が連動するよう工夫している。また、全てのお子様の情報も収集・共有することで、支援の一貫性と質の向上を図っている。	・定期的な面談や子育て相談を実施していき、情報共有を行っていく。 ・職員間で知識や視点を共有し、より個々のニーズに合わせた個別支援計画書の作成に努めていく。
2	安心感を持てる支援環境	・お子様の変化や成長を保護者様に共有し、様子に合わせた環境で支援を行っている。面談やフィードバックで傾聴や相談の時間を確保し、支援内容や様子を職員間で共有して安心感のある環境を整えている。	・保護者様とお子さまの振り返りを丁寧に行っていく、支援内容を検討して教室内で共有していく。 ・面談を定期的に行い、不安感を軽減しながら寄り添った支援環境を整えていく。
3	ご利用者様の満足度が高い	・支援方針や対応の意図を丁寧に説明し、相談しやすい雰囲気を作っている。個別支援や面談、情報共有を通してお子様に合わせた支援を行い、利用者様のニーズに沿った対応を意識している。	・定期面談や子育て相談を実施して職員間で共有し、情報発信や意見箱で保護者様の声を把握していく。 ・様子に変化が見られた際は早期面談を行い、個別/集団支援の工夫を通して満足度向上に努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流の機会や支援の提供（きょうだい同士の交流含む）	・個別支援中心で交流時間が取れないこと、部屋確保の難しさ、保護者会の機会が定着していない。 ・未就園児向けの交流や相談会の実施ができていない。	・お子さまの預かりを含めた保護者座談会を実施し、発達段階に応じた交流や情報共有の機会を増やしていく。 ・イベントや説明会は個別周知を徹底し、掲示/オンラインでの情報共有も進めていく。 ・未就園児向けや卒園児の保護者との交流会など保護者支援を充実させていく。
2	非常災害時に備えた定期的な訓練と救出の実施	・法定回数だけの訓練や非常階段活用の難しさ、利用者様や保護者様への周知が不足している。	・ご利用者様が主体的に参加できるよう、避難訓練や防災イベントを企画して実施していく。 ・訓練の実施予定や実施内容を掲示やアプリ等を通じて周知し、全体での意識を高めていく。
3	教室概要や自己評価の結果をこどもや保護者様に対して発信しているが、認知に至っていない。	・掲示やホームページ公表だけでは周知が不十分である。	・事業所評価の結果を連絡アプリや掲示、個別の声掛けを通して周知していき、保護者様が見やすく理解しやすい形で確認できるようにしていく。